

小児がん拠点病院選考に当たっての経緯と書類選考結果

第1回検討会において、以下の事項を決定した。

1. 以下の3段階で選定を進めることとする。

第1段階 書類選考

第2段階 ヒアリング

第3段階 拠点病院の選定

選定結果を踏まえ、厚生労働大臣が指定。

2. 書類選考は以下の基準で行う。

① 必須要件を満たしているか。

- ✧ 診療実績は、「造血器腫瘍年間10例程度以上、固形腫瘍年間10例程度以上（うち脳・脊髄腫瘍が2例程度以上）」とされているが、10－10－2（平成23年）を基準とする。
- ✧ 必須要件は「小児がん拠点病院の整備について」（平成24年9月7日健発0907第2号）の拠点病院の指定要件を指す（「望ましい」とされている要件は除く）。

② 必須要件のうち、申請書類から客観的かつ明確に実績等を把握できる以下の項目についてはそれらも考慮する。

- ✧ セカンドオピニオンの対応実績が1件以上。
- ✧ 緩和ケアチームの診療実績が1件以上。
- ✧ 地域医療機関へ紹介した実績が1件以上。
- ✧ 日本小児血液・がん学会暫定指導医2名以上。
- ✧ 日本小児外科学会専門医2名以上。

③ ①、②の基準を原則としつつも、検討会の議論を踏まえ、以下の病院についてはヒアリング対象とする。

- ✧ 東北大学病院、福島県立医科大学附属病院及び新潟大学医歯学総合病院は、地域性に配慮しヒアリング対象とする。
- ✧ 埼玉医科大学国際医療センター及び国立がん研究センター中央病院は、固形腫瘍実績が他の申請医療機関と比べて突出しているためヒアリング対象とする。

3. 拠点病院選定にあたっての評価の視点は以下のとおり。

<基本的な考え方>

地域ブロックの特に治療の難しい小児がん患者を一定程度集約化し、地域の小児がん医療及び支援を提供する拠点施設として、地域全体の小児がん医療及び支援の質の向上に資する医療機関を選定する。

<特に以下の点を評価の視点として重視>

1. 小児がん診療のうち特に集約化と地域連携について

- 集約化を進めていく疾患・病態

(ポイント)

- ✓ 造血器腫瘍・固形腫瘍それぞれについて、現状、再発症例や難治症例の患者をどの程度診療しており、今後どの程度集約することが可能か。
- ✓ 集約した場合、病床は足りるのか。
- ✓ 思春期のがん患者の診療体制はどのようになっているのか。

- 地域（ブロック）医療機関との連携のもと診療する疾患・病態

(ポイント)

- ✓ 標準治療の確立している疾患・病態については必ずしも集約化する必要はなく、こういった疾患・病態について積極的に地域（ブロック）医療機関と連携して診療するのか。
- ✓ 自施設で十分な診療経験のない疾患について他の医療機関とどのように連携して診療するのか。
- ✓ 連携する具体的な医療機関名も入れること。

- カバーする地域

(ポイント)

- ✓ これまでどの地域から患者を受け入れているか。
- ✓ 今後どの地域までカバーすることが可能か。
- ✓ カバーする具体的な都道府県名を入れること。

2. 長期フォローアップ

(ポイント)

- ✓ 長期フォローアップの具体的な方法。
- ✓ 自施設で集学的治療を行った後、地域医療機関との連携のもとどのようにフォローアップしていくのか。
- ✓ 特に小児専門の医療機関では、長期フォローアップを自施設で行うのか、他の医療機関との連携のもと行うのか。
- ✓ 晩期合併症への対応。

3. 小児緩和ケアの提供体制

4. チーム医療について
(ポイント)
 - ✓ 特に看護師など医師以外の医療従事者の役割。
5. 自施設の小児がん診療を担う人材の確保について
(ポイント)
 - ✓ 1において患者増に対する人材確保の方法。
 - ✓ 自施設で十分な診療経験のない疾患について、他施設より医師等を確保する予定はあるか。
 - ✓ 人材確保について協力関係にある医療機関はあるのか。
6. 地域（ブロック）で小児がん診療を担う医療従事者の育成について
(ポイント)
 - ✓ 具体的な地域の小児がん診療を担う人材育成の方法、受入状況、今後の予定。
 - ✓ 人材育成を担う人材（専門医等）が配置されているか。
7. 患者の発育及び教育に関する環境整備について
(ポイント)
 - ✓ 復学支援の内容。
 - ✓ 保育士のみならず、臨床心理士、チャイルドライフスペシャリスト、ディスチャージプランナーなどによる支援の有無。
8. 家族の宿泊する長期宿泊施設等、家族等への支援について
(ポイント)
 - ✓ 長期宿泊施設については料金設定等、家族等にとって使いやすいかどうか。
9. 相談支援・情報提供について
(ポイント)
 - ✓ どのような職種が相談支援・情報提供に対応しているか。
 - ✓ これまでの小児がんに関する相談件数、相談者の属性、相談内容。
 - ✓ 小児がんに関する情報提供の内容や方法。
 - ✓ 小児がん患者団体との連携の内容。
10. 臨床研究への参加状況
11. 小児がん拠点病院としての継続性について
(ポイント)
 - ✓ 特に大学病院では、人事異動等による小児がん診療への影響を軽減する方策を講じているか。例えば小児血液腫瘍科を設けている、あるいは設ける予定があるか。

※地域医療機関等との連携や協力、今後の長期的かつ具体的な計画については全ての領域において重視。

第1回検討会を踏まえ、事務局で以下の医療機関をヒアリング対象医療機関として選定し、評価の視点を事前に伝達し、以下のスケジュールでプレゼンテーションを行っていただくことを依頼した。

ブロック		都道府県名	医療機関名	ヒアリング日時と順番		
北海道	1	北海道	北海道大学病院	12月25日	15:10-15:35	1
東北	2	宮城	東北大学病院	12月25日	15:35-16:00	2
	3	福島	福島県立医科大学附属病院	12月25日	16:00-16:25	3
関東	4	埼玉	埼玉県立小児医療センター	12月25日	16:50-17:15	5
	5	東京	聖路加国際病院	12月25日	17:15-17:40	6
	6	東京	国立成育医療センター	12月25日	17:50-18:15	7
	7	東京	東京都立小児総合医療センター	12月25日	18:15-18:40	8
	8	神奈川	神奈川県立こども医療センター	12月25日	18:40-19:05	9
	9	埼玉	埼玉医科大学国際医療センター	12月25日	19:05-19:30	10
	10	東京	国立がん研究センター中央病院	12月25日	19:30-19:55	11
東海	11	新潟	新潟大学医歯学総合病院	12月27日	17:15-17:40	19
北陸	12	静岡	静岡県立こども病院	12月27日	17:40-18:05	20
信越	13	愛知	名古屋大学医学部附属病院	12月27日	18:05-18:30	21
	14	三重	三重大学医学部附属病院	12月27日	18:30-18:55	22
近畿	15	京都	京都大学医学部附属病院	12月27日	15:00-15:25	14
	16	京都	京都府立医科大学附属病院	12月27日	15:25-15:50	15
	17	大阪	大阪府立母子保健総合医療センター	12月27日	15:50-16:15	16
	18	大阪	大阪市立総合医療センター	12月27日	16:15-16:40	17
	19	兵庫	兵庫県立こども病院	12月27日	16:50-17:15	18
中国	20	広島	広島大学病院	12月25日	16:25-16:50	4
四国						
九州	21	福岡	九州大学病院	12月27日	14:10-14:35	12
	22	鹿児島	鹿児島大学病院	12月27日	14:35-15:00	13